

発行者：秦野市議会議員
やひろ伸二



議会だより

連絡先：
〒259-1392 秦野市堀山下1番地
Tel. 0463-88-2777 (後援会事務所)
ホームページ：http://www.shinjiyahiro.com/

平成29年度 秦野市議会 第3回定例会報告！



秦野市議会第3回定例会(9月議会)が9月5日から10月4日の会期で開催され、平成28年度歳入歳出決算の認定を含めた市長提出議案23件、報告6件、陳情1件、委員会提案議案2件などを審議・議決し閉会しました。主な内容は以下の通りです。

1. 消防西分署の工事契約を承認



西分署の完成予想図

平成32年度の新東名高速道路開通に伴い、伊勢原北IC～御殿場IC間での消防活動を本市西分署が担うこととなります。その拠点整備として、西分署を建て替える工事請負契約の承認を問う提案があり、賛成全員で可決しました。

なお、隣接する西中学校体育館及びその周辺整備は、平成32年9月頃に供用開始の予定です。



西中体育館等のイメージ図

<主な内容>

項目	詳細
西分署の解体と新設	場所：柳町二丁目地内 契約費用：354,229,200円 契約先：関野建設・コイズミ共同企業体
電気設備工事	契約金額：61,774,974円 契約先：府川電機工業(株)
機械設備工事	契約金額：39,605,274円 契約先：(株)相原管工

※工事期間は、いずれも平成31年5月27日まで

2. 新たに予算決算常任委員会を設置

秦野市議会では、これまで「予算決算特別委員会」として、予算や決算、そして補正予算などを審議していましたが、今定例会(9月議会)から、正式に「予算決算常任委員会」を常時設置し、詳細に審議することを議会運営委員会として提案し、賛成全員で承認しました。

3. 新議長・副議長を選出

今定例会(9月議会)の冒頭、議長と副議長の選挙が行われ、下記の方々を選出しました。

役職(任期※)	議員名(期数)	所属党派
議長(2年)	阿蘇 佳一(9期)	民政会
副議長(1年)	相原 學(1期)	自民・新政クラブ

※任期は慣例です。

4. 平成28年度決算を認定

平成28年度の一般会計及び水道事業会計、ならびに3つの特別会計(国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療)と2つの企業会計(水道・公共下水道)の決算を認定(承認)しました。

一般会計の歳入総額は495億1,104万1,206円に対し、歳出総額は475億7,736万9,748円となり、対前年比2.2%増、執行率は90.9%となりました。

但し、本市の生産年齢人口の減少等により、歳入の根幹となる市税の増加が見込めない中で、少子高齢化の進行に伴い、依然として厳しい財政運営を強いられています。なお、各会計の金額は、下記の通りです。

会計名	歳入額(円)	歳出額(円)	
一般会計	49,511,041,206	47,577,369,748	
特別会計	国民健康保険事業	20,707,338,154	20,482,180,841
	介護保険事業	10,861,553,522	10,598,472,972
	後期高齢者医療事業	1,935,338,085	1,824,337,393
	下水道事業	—	—
合計	83,015,270,967	80,482,360,954	
企業会計	水道事業	3,012,404,095	2,683,587,422
	公共下水道事業	7,055,891,974	6,939,377,548

5. 平成29年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ1億2,282万6千円を追加し、総額521億2,701万6千円とする補正予算の提案がなされ、賛成全員にて可決しました。

この補正予算には、臨時国会にて衆議院が解散したことに伴う選挙費用の5,335万9千円も含まれています。主な事業は下記の通りです。



<補正された主な事業>

事業名	金額(円)
衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行費	53,359,000
保育対策総合支援事業補助金	24,000,000
橋りょう長寿命化・耐震化事業費	20,010,000
消防団車庫待機室整備事業費	10,376,000

平成29年 第2回定例会 一般質問内容 やひろ伸二



今定例会において、公共施設のさらなる活用として「表丹沢野外活動センターの利用拡大」、また、超少子高齢社会における健康維持として「パークゴルフ場新設に向けた進捗状況」についての質問を行いました。主な内容は下記となります。

1. 表丹沢野外活動センターの利用拡大



表丹沢野外センター(宿泊棟)

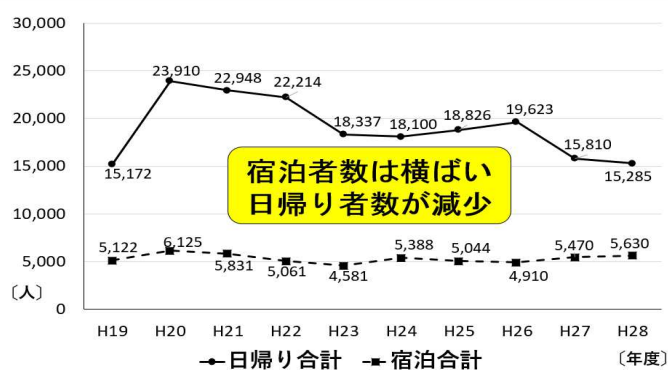
【質問】

- (1) 表丹沢野外活動センターは、再整備から累計でどの程度の費用が投じられているのか?
- (2) 現在のランニングコストは?
- (3) 利用状況は?
- (4) NPO 法人などと連携し稼働率向上をしては?

【回答】

- (1) 平成19年7月のオープンに向けた、既存のくずは青少年野外センター建物の解体のほか、現在の研修棟、活動棟、駐車場等の建設工事、また、その後の風呂棟、いろり棟(昔の生活学習館)、現在建設中の森林遊び場の第1期工事の総額は、約10億7,100万円である。内、国・県から約4億2,400万円の補助金を頂いている。
- (2) 施設職員の人件費、施設の維持に関する清掃や点検委託等で、平成28年度では約4,500万円である。
- (3) 平成19年度にオープンし、平成20年度の30,035人を最高に、平成22年度までは、27,000人以上の利用者があった。しかし、東日本大震災があった平成23年度では、22,900人に減少し、その後、平成26年度には、24,500人まで増加したものの、平成27~28年度は減少となり、28年度は、20,915人となっている。

表丹沢野外活動センター稼働状況



宿泊者数は横ばい
日帰り者数が減少

出典：子ども育成課 提供データより

- (4) NPO 法人など民間と連携し、稼働率向上に努めたい。

◆◆ 意見要望 ◆◆

本市は、今後も厳しい財政状況が予想されるので、維持費や収入などの計画を立て、進めて頂くようお願いする。また、行政では運営や企画などが難しい場合には、民間と連携するなどの検討を要望する。

2. パークゴルフ場新設に向けた進捗状況

【質問】

- (1) 本市の高齢化率は28.3%となっており、平成37年度には30%を超えることが予想されている。喫緊の課題は健康寿命を延ばすことだが、パークゴルフは3世代が楽しめるスポーツであり、神奈川県も「未病」に繋がることとして推奨している。そこで、カルチャーパークでの入門的なコースの進捗状況は?
- (2) 栃窪スポーツ広場での調査状況は?
- (3) 新東名高速道路の高架下での協議状況は?
- (4) NEXCO 中日本の未利用地などの検討は?



【回答】

- (1) 陸上競技場の南側にある芝生広場に簡易ホールカップを設置し、広場の利用に支障がない形での使用を考えている。1ホール当たりの距離は短いですが、ホールカップ9か所を設置し、年内には利用できるように進めている。
- (2) 広場の面積は6,500㎡程度で、レイアウトやホール数などを検討すると18ホールのコース面積の基準である7,000㎡が確保できない状況で、設置できるのは9ホール程度となる見込みである。
- (3) 高架上部分の利用は、費用面その他の制約が多いことから、高架上以外の部分で検討すると平面的に利用できる面積が約5,000㎡となり、そこに管理棟や駐車場を配置すると9ホールの確保も難しい見込みである。
- (4) 市として利用できる土地はあるようだが、アクセス道路の整備計画や造成計画が、現時点では明確になっていない。パークゴルフ場として整備できる可能性がある場所かどうかの確認ができていない状況である。今後、引き続き土地の選定など、NEXCO 中日本とも協議していきたい。

◆◆ 意見要望 ◆◆

パークゴルフ場の新設に際して18ホール以上がないと、集客が見込めず負の遺産となる。引き続き、NEXCO 中日本と協議を続けて頂きたい。また、「名水はだの富士見の湯」周辺(加茂川地区)に公園や広場の計画がなされている。農振地域ではあるが、並行して検討して頂きたい。